



Profile

社会福祉法人阿南淡島会 障害者支援施設淡島学園

阿南市睨町に1956年に開園。その後、2003年に現在の阿南市西路見町に移転した。利用者一人ひとりの障害の種類や特性などを尊重し、運営を行う。職員による地域のパトロールなど地域に密着した取り組みも行っている。



一人ひとりの個性を大切に 当たり前の世界が ここにひろがる

「青い松原赤い屋根海から風が吹いてくる淡島学園大好きだ」学園歌にも歌われているように、周りを山や田畑に囲まれ、近くには、淡島海岸がある自然豊かな環境にある淡島学園。利用者一人ひとりの個性を尊重し、誰もが楽しく日々を暮らせる場所を提供することを目標にしている。

淡島学園は、2022年に創立66周年を迎えた。1956年11月21日、精神薄弱児施設として開設され、その当時は精神薄弱児施設が少なく、県内では3番目（民間では初めて）の施設として設立された。現在、利用者は日中、個人の個性や体調に合わせて、ひまわり班、アサヒ班、エール班、カモト班、スマイル班に分かれて活動を行う。

淡島海岸の清掃活動は年2回行っている。ゴミを拾うだけでなく、ゴミの分別も行う。利用者にとっては、自分たちの力で海岸が美しくなり、地域に役立っていることを実感でき、自信にも繋がっている。

今後は、コロナで中止となっている地域との交流も復活できたらと考えているそうだ。豊かな自然に囲まれて、学園ではこれからも当たり前の日々の暮らしが紡がれていく。